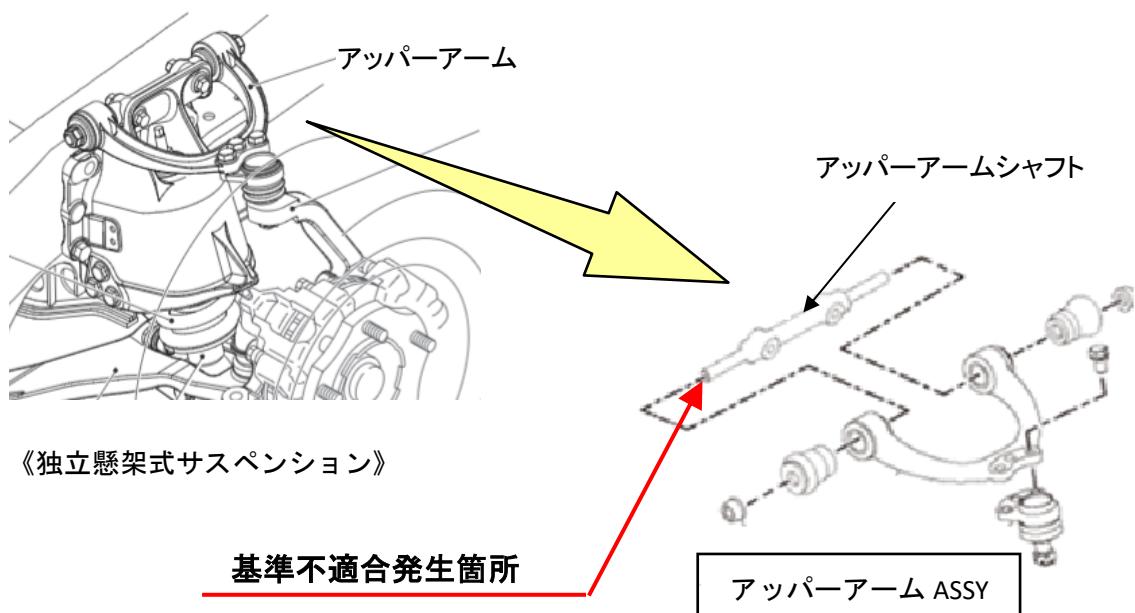


改善箇所説明図



《独立懸架式サスペンション》

基準不適合発生箇所

独立懸架式サスペンションのアッパーアームシャフトにおいて、製造時の熱処理が不適切なため、当該部位の強度が不足しているものがある。そのため、走行中の振動や衝撃によってアッパーアームシャフトが折損し、最悪の場合、路面に脱落することがある。

また、アッパーアームが車両内側の部品と干渉して操縦安定性が低下し、バスにおいては、アッパーアームがブレーキパイプと干渉し、そのまま使用を続けると、ブレーキパイプが損傷し、ブレーキ液漏れに至りブレーキ機能が低下するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、左右のアッパーアームシャフトの生産ロット刻印を点検し、製造不良の生産ロットであった場合、良品のアッパーアーム ASSY と交換する。

注：□は、良品に交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、右側アッパーアームに白色ペイントを塗布する。